

中国大陸における日本語学習・ 教育の歴史をどう見るか

—日中の日本語教育史に関する研究状況の
相違と課題

神戸大学国際教育総合センター 川上尚恵
北海道大学国際本部グローバル教育推進センター 中村重穂

1. はじめに

◆ 日本語教育史研究に関するこれまでのとらえ方

- ・近代を中心としたもの(関1997)
- ・国際交流史の観点からとらえたもの(小川・河路2012)
- ・日本語教育学会シンポジウム/パネルセッション

「日本語教育史研究のこれから」(2002年春季大会シンポジウム)

「日本語教育史研究の新しい視座と可能性-発掘された資料が語るもの-」(2010年度春季大会パネルセッション)

◆ 本発表の目的

中国大陸における日本語教育の日中の研究状況を整理・比較し、互いの研究成果を活用し、発展させるための課題について考察する。

2. 研究方法

2-1. 日本における研究動向について

日本語教育史研究論文データベースの中から中国関連の研究を時系列的にクロス集計し、さらに日本人研究者による研究と非日本人研究者による研究に分けて観察

2-2. 中国における研究動向について

歴史的視点を有した日本語教育関連の研究論文の傾向を質的に分析

・中国学術文献オンラインサービス(China National Knowledge Infrastructure)を利用

3. 分析

3-1. 全体

日本

→50～2000年代まで文献本数は順次倍増

- ・一貫して増加→地域史(最多)、人物史、制度組織史、通史概説
- ・70年代から増加→留学生教育/政策史
- ・80年代から増加→教材・教授法史、教育思想・教育論
- ・90年代から増加→教育/言語政策史、書誌資料、*夕*日本語教育史

中国

対象テーマの通史的把握(参考資料③参照)

- ・徐一平1997、徐一平2002、宿久高2003、朱奇莹2013、伏泉2014
-

通史的研究からみた中国における日本語教育

時代	主要テーマ・背景	トピック
古代	魏志・後漢書・宋書等	古代の日本語の記載
清代	日本留学生	日本語教科書・教材等 日本語学習観(主要人物の)
	日本人教習	同文館東文館
1910～30年代	日本研究	日本語教科書・教材、研究書、雑誌等 北京大学日本文学科
1937～45年	抗日戦争	抗日日本語学習 奴化教育としての日本語教育
1949～60年代前半	新中国・文革前	政策と日本語教育(『外国語教育七年発展綱要』) 大学における日本語教育 日本語教科書・教材等
1970年代	文革後・日中国交回復・第一次日本語ブーム	大学出版の日本語教科書・教材 学校外(社会)日本語教育とその教科書・教材 『日語学習と研究』創刊
1980年代	第二次日本語ブーム	教師養成(北京日本学研究中心) 研究者の組織化(日語教学研究会) 教学大綱制定

3. 分析

3-2. 留学生

日本

- 留学生教育/政策史の中でも制度組織研究が中心(例: 早大清国留学生部、実践女学校、明治専門学校、宏文学院、五校特約)
- 90年代以降通史概説が倍増し、人物、政策に関する研究も増加
- 2010年以降も概ねこの傾向は継続中

中国

「近代化」という視点に立った研究

- 留学生(清末、女性) cf. 傀儡政権からの留学
清代への関心の高さ(日本人教習、「東語正規」)
資料の共有による日中の研究交流が盛ん(周一川2009)
-

3. 分析

3-3. 高等教育

日本

- ・60年代～2015年まで中国側教育機関に関する研究は常に出現
- ・日本側も含めて高等教育機関より予備教育機関の研究が中心
→留学生教育史と連動
- ・戦後中国高等教育機関の研究は21世紀以降出現(中国人中心)

中国

- ・高等教育を中心に発展している現在までの状況の反映(伏泉 2014)
清末の京師同文館・広東同文館:近代中国の日本語教育の発端(許海華2008)
1949年以降に着目:宿久高2003、吴晗2014 cf. ビジネス日本語(李愛文2011)
-

3. 分析

3-4. 戦時下

日本

- ・60年代以降各期に継続的に出現するトピックは対支文化事業/工作
- ・00年代から日中戦争期を主題/背景とする研究が急増
- ・制度組織史と教材教授法史が多く、これらの分析＝マクロとミクロの視点から戦時下日本語教育の特質を解明する傾向

中国 「侵華教育史」に関する研究の新たな動き

- ・「奴化」教育を中心とした観点(徐敏民1995)
 - ・「奴化」教育と日本語教育研究の結びつき(徐雄彬2015)
 - ※教育部青年基金取得
 - ・新中国成立以前の研究をも視野に入れた研究(李冠男2015)
-

4. 日中の研究動向の特徴

日本

- ・中国に特化すると留学生教育/政策史研究が最多
- ・時代的には清朝/清末と日中戦争期に概ね二極化(特に00年以降)
- ・二国間交流(国際関係、ソフトパワー)の観点からの研究の不在

中国

- ・現在の日本語教育の動向の影響
 - 高等教育、ビジネス日本語 ⇔ 社会教育に着目した研究の不在
- ・時代的には清代、戦時下が多数
- ・通史的、概論的研究が多く、教育内容等に関する研究が少ない
- ・通史的には触れられているが未開拓のテーマ
 - 抗日日本語学習、日本語教科書・教材等(清代、1930年代、新中国成立後)

5. 課題と展望

◆ 課題と展望

- 1) 関心のあるテーマや時代は重なりつつも、異なる観点・姿勢
→ 地域を中心とした捉え方(李冠男2015:参照)
- 2) 研究の行われていない空白部分
- 3) 日本における日中共同研究の少なさ

◆ 日本語教育史研究に対して

- 1) 「日本語教育史」研究にできること→「一国史」ではない「関係史」からの視点
 - 2) 日本の研究者が海外の研究動向に目を向けること
 - 3) 日本で学ぶ外国人研究者の卵(留学生)を育てること→日本の日本語教育史研究動向をおさえつつ、自らの出身国・地域の「日本語教育史」を研究
-

日本語参考文献

- ◆ 小川誉子美・河路由佳(2012)『日本語をめぐる国際交流史』平成21年度～平成23年度 科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果 株式会社インフォテック
 - ◆ 河路由佳・小川誉子美・嶋津拓・長谷川恒雄(2010)「日本語教育史研究の新しい視座と可能性—発掘された資料が語るもの—」『2010年度日本語教育学会春季大会予稿集』
 - ◆ 河村一夫(1967)「対支文化事業関係史—官制上より見たる—」歴史教育研究会編『歴史教育』第15巻第8号 日本書院
 - ◆ 関冰冰・山田花尾里(2001)「中国における日本語教育の歴史的発展—大学の日本語専門教育について—」『日本語日本文学』第11号 創価大学日本語日文学会
 - ◆ 関正昭(1997)『日本語教育史研究序説』スリーエーネットワーク
 - ◆ 孫曉英(2013)「日中国交正常化以降の中国における日本語教育と日中交流—大平学校(1980年～1985年)に焦点を当てて—」『アジア教育』第7巻 アジア教育学会
 - ◆ 孫曉英(2014)「中国改革開放時期における日中教育文化交流に関する—考察—大平学校の訪日研修に焦点をあてて—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第22号 早稲田大学大学院教育学研究科
-

日本語参考文献

- ◆ 孫曉英(2015)「戦後日中教育文化交流に関する一考察—大平学校の日本人講師に焦点を当てて—」『早稲田教育評論』第29巻第1号 早稲田大学教育総合研究所
 - ◆ 細野浩二(1971)「東京専門学校と邦語教授」『早稲田大学史記要』vol.IV 早稲田大学大学史編集所
 - ◆ 八木朝治(1965)「朱村日本語学校」週刊朝日編(1965)『父の戦記』朝日新聞社
 - ◆ 山本みち(1973)「退官にさいして—大阪外大の日本語教育をふりかえる—」『日本語・日本文化』第3号 大阪外国語大学研究留学生別科
 - ◆ 李紅衛(2001)「清水安三と北京崇貞学園—近代日中教育文化交流史の視点から—」『日本の教育史学』第44集 教育史学会
-

中国語参考文献

- ◆ 伏泉2014「论我国高校日语专业教育的特点和职能」『日语学习与研究』1期
- ◆ 李爱文2011「中国商务日语教育的历史、现状及未来展望」『日语学习与研究』4期
- ◆ 李冠男2015「新中国成立后大连日语高等教育历史研究初探」『齐齐哈尔大学学报(哲学社会科学版)』1期
- ◆ 宿久高2003「中国日语教育的现状与未来——兼谈《专业日语教学大纲》的制定与实施」『日语学习与研究』2期
- ◆ 吴晗2014「浅析中国日语高等教育发展史」『当代教研论丛』3期
- ◆ 许海华2008「近代中国日语教育之发端——同文馆东文馆」『日语学习与研究』1期
- ◆ 徐敏民1995「日语教育是奴化教育的尖兵」『探索与争鸣』12期
- ◆ 徐雄彬 2015「九一八”事变前日本对中国东北地区朝鲜族的奴化教育——以日语教育为中心」『日语学习与研究』4期
- ◆ 徐一平1997「中国的日语研究与日语教育」『日语学习与研究』4期
- ◆ 徐一平2002「中国的日语研究史初探」『日本学刊』1期
- ◆ 周一川2009「近年来日本的中国人留日史研究动向」『日本研究』3期
- ◆ 朱奇莹2013「浅析20世纪中国的日语教育发展——以1992年以前所呈现的时代特征为中心」『课程教育研究』25期

日本語教育史研究文献分野別刊行数(1950-2015)

	50年代	60年代	70年代	80年代	90年代	00年代	2010-15
地域史	5	11	18	51	146	267	148
教材教授法	5	10	8	44	119	223	155
制度組織	0	7	9	37	80	160	77
人物史	13	17	33	34	48	95	40
留学生教政	3	0	14	25	54	103	41
通史概説	4	5	14	14	40	51	11
教育政策史	2	1	2	6	45	55	38
書誌資料	2	2	1	7	20	42	11
教育思想	2	3	5	18	24	50	40
回顧回想	13	4	5	9	11	37	13
夕教育史	0	0	0	0	13	27	9
その他	7	1	7	1	20	29	20

参考資料②

日本語教育史研究文献：中国関連・研究者分類(赤字＝非日本人)

	50年代	60年代	70年代	80年代	90年代	00年代	2010-15
地域史	0-0	0-0	2-0	0-0	2-0	13-10	14-12
教材教授法	0-0	1-0	1-0	1-0	7-3	15-1	13-7
制度組織	0-0	4-0	2-0	6-0	13-2	19-12	9-7
人物史	0-0	0-0	1-0	9-0	2-0	9-5	4-6
留学生教政	2-0	0-0	7-0	10-0	8-17	41-24	13-7
通史概説	0-0	0-0	0-0	0-0	0-1	1-1	2-1
教育政策史	0-0	0-0	0-0	0-0	2-1	2-1	2-7
書誌資料	0-0	0-0	1-0	3-0	3-0	2-1	0-0
教育思想	0-0	0-0	0-0	0-0	2-0	5-0	4-2
回顧回想	0-0	0-0	0-0	2-0	1-1	1-1	2-0
ㄨ教育史	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	3-1
その他	0-0	0-0	0-0	0-1	3-1	4-2	1-1